

## 「福島県地域脱炭素推進コンソーシアム」の設立趣旨

令和7年3月19日

福島県生活環境部

- 本県では、令和5年6月に「ふくしまカーボンニュートラル実現会議」を設立し、オール福島による推進体制を整備したところ、また、去年10月には、新たに「福島県カーボンニュートラル条例」を制定し、県内の脱炭素社会の実現に向けた機運が高まりつつある。
- 2050年福島県カーボンニュートラルの実現に向けては、さらなる温室効果ガスの排出量の削減が必要であり、特に県内企業における脱炭素の取組が必要不可欠である。
- 国においては、GX(グリーントランスフォーメーション)実現に向けた動きが活発化し、国内企業では取引先にも温室効果ガス排出量の削減を要請する事例が見られており、県内企業においても、GX投資拡大の時流に乗りつつ、カーボンニュートラルの実現に向けた脱炭素経営に取り組むことが必要となっている。
- そうしたことを背景に、県内の金融機関や経済団体、行政、その他関連団体がそれぞれ得意分野を持ち寄り、県内企業の脱炭素化を後押ししていくための仕組づくりや、支援のための具体的な取組などについて、共有・議論し、実行していくための支援体制として、今回、「福島県地域脱炭素推進コンソーシアム」を設立する。